

2-4-1. わいせつ行為等に係る懲戒処分等の状況(教育職員)(令和元年度)

■本調査における「わいせつ行為等」の定義について

- 「わいせつ行為等」とは、わいせつ行為及びセクシュアルハラスメントをいう。
- 「わいせつ行為」とは、強姦性交等、強制わいせつ(13歳以上の者への暴行・脅迫によるわいせつ行為及び13歳未満の者へのわいせつ行為)、公然わいせつ、わいせつ物頒布等、買春、痴漢、のぞき、陰部等の露出、青少年保護条例等違反、不適切な裸体・下着姿等の撮影(隠し撮り等を含む。)、わいせつ目的をもって体に触ること等をいう。
- 「セクシュアルハラスメント」とは、他の教職員、児童生徒等を不快にさせる性的な言動等をいう。

(1) わいせつ行為等に係る懲戒処分等の状況(当事者責任)(令和元年度)

	免職	停職	減給	戒告	合計	訓告等	総計
わいせつ行為等	153	50	16	9	228	45	273
(上記のうちわいせつ行為)	(148)	(22)	(1)	(1)	(172)	(2)	(174)
<わいせつ行為のうち児童生徒※に対するもの>	<121>	<5>	<0>	<0>	<126>	<0>	<126>

※児童生徒: 自校の児童・生徒のほか、自校の卒業生で18歳未満の者やその他の18歳未満の者を含む。

(2) 被処分者の性別

※()はわいせつ行為による人数・割合

被処分者の性別	人数(人)	割合(%)
男性	266人 (171人)	97.4% (98.3%)
女性	7人 (3人)	2.6% (1.7%)
合計	273人 (174人)	100.0% (100.0%)

(3) 被処分者の年齢層

※()はわいせつ行為による人数・割合

	被処分者数A	在職者数B	A/B
20代	76人 (63人)	141,689人	0.05% (0.04%)
30代	74人 (55人)	193,565人	0.04% (0.03%)
40代	54人 (30人)	206,839人	0.03% (0.01%)
50代以上	69人 (26人)	322,460人	0.02% (0.01%)
計	273人 (174人)	864,553人	0.03% (0.02%)

(注1) 在職者数: 平成28年度学校教員統計調査より

(注2) A/Bの分母は平成28年度のものであり、参考数値

(4) 被処分者の所属する学校種

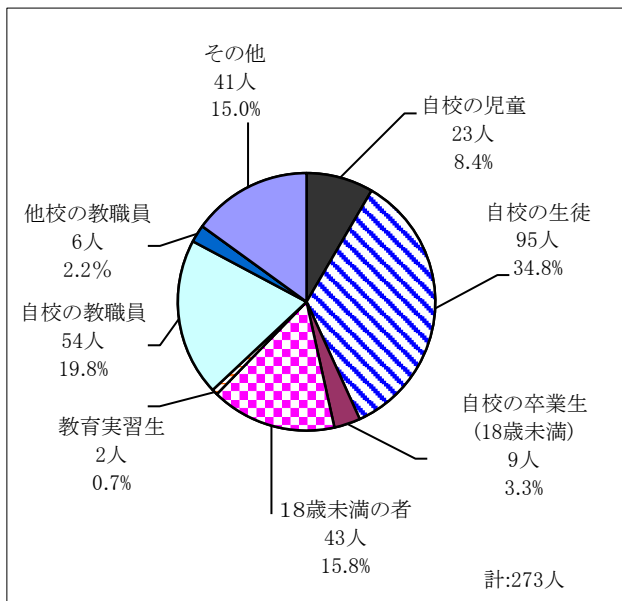
※()はわいせつ行為による人数・割合

	被処分者数A	在職者数B	A/B
小学校	80人 (50人)	414,901人	0.02% (0.01%)
中学校	81人 (57人)	229,895人	0.04% (0.02%)
義務教育学校	1人 (0人)	3,378人	0.03% (0.00%)
高等学校	92人 (55人)	180,755人	0.05% (0.03%)
中等教育学校	0人 (0人)	1,786人	0.00% (0.00%)
特別支援学校	19人 (12人)	89,655人	0.02% (0.01%)
計	273人 (174人)	920,370人	0.03% (0.02%)

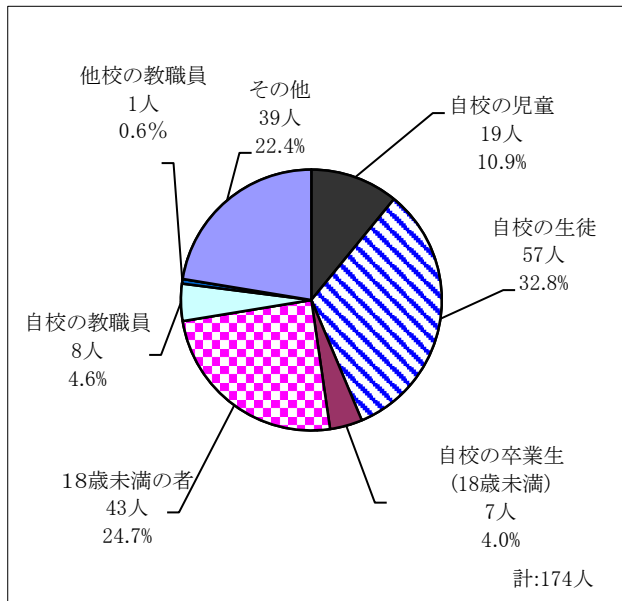
(注) 在職者数: 令和元年度学校基本調査より

(5) わいせつ行為等の相手の属性

【わいせつ行為等】

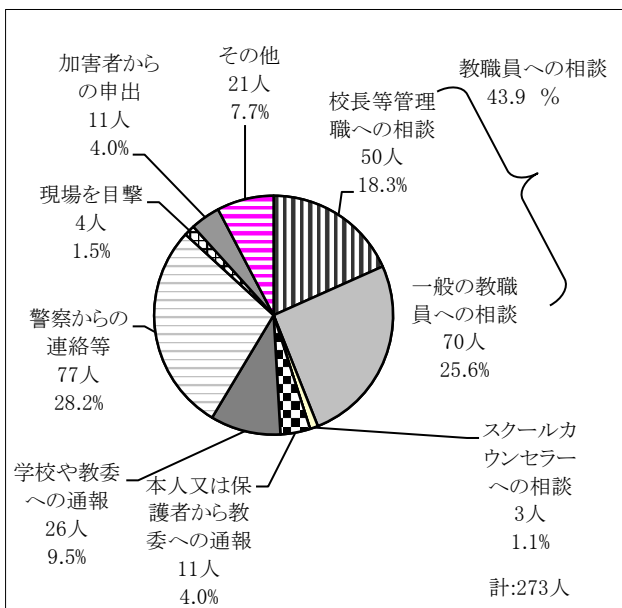


【わいせつ行為等のうち、わいせつ行為】

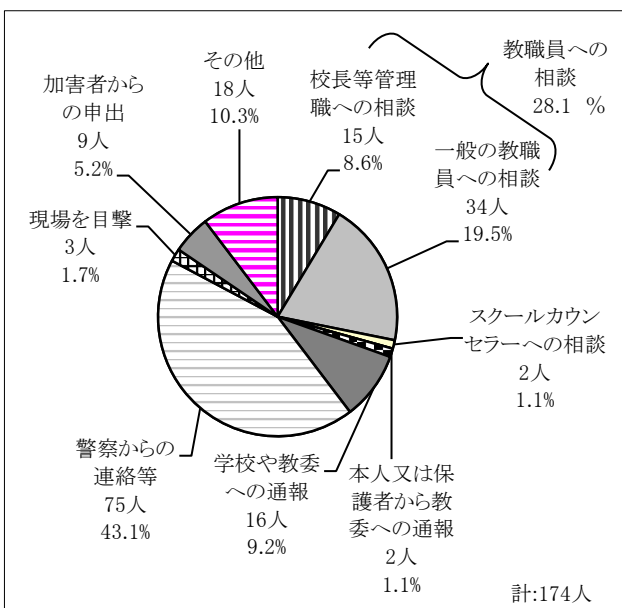


(6) わいせつ行為等が発覚した要因

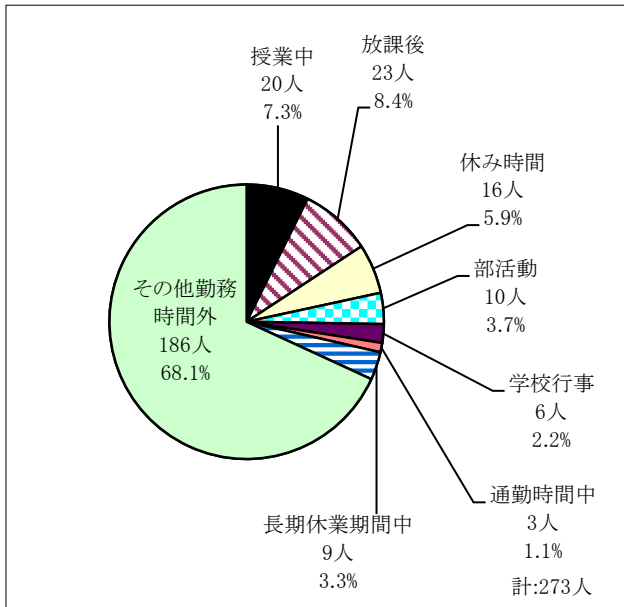
【わいせつ行為等】



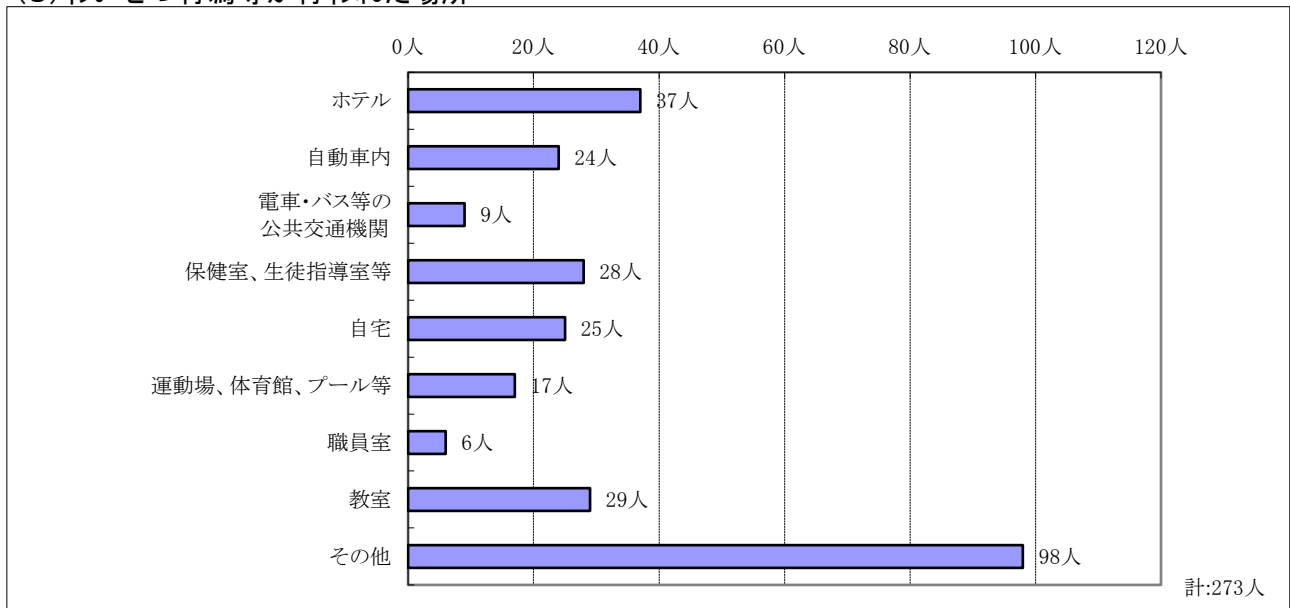
【わいせつ行為等のうち、わいせつ行為】



(7) わいせつ行為等が行われた場面



(8) わいせつ行為等が行われた場所



(9) わいせつ行為等の態様

